

令和7年9月発行

【発行者】

特定非営利活動法人 わくわくネットいわき
〒970-8028

福島県いわき市平上神谷字神谷分 22-1

TEL 0246-57-0255

FAX 0246-57-0256

第70号（令和7年度 第2号）

わくわく通信

『一病息災』

いわき市総合教育センター教育支援アドバイザー

松崎 伯文

私事ですが、私は今年1月に脳梗塞になりました。現在はお陰様で大きな後遺症もなく以前に近い状態にまで回復しましたが、入院中はベッドの上で常に頭をよぎってきたのは不安でした。「考えたって仕方がないのに!」と分かってはいるのについて考えてしまうのです。思い通りにいかないのは体だけでなく、心もでした。しかし、体が少しずつ回復してくると、これまで当たり前だと思っていたことにも感謝の気持ちが始まりました。入院中はこの二つの気持ちが行ったり来たりの毎日でした。

「一病息災」という言葉があります。これは私が退院する時に友人から教えてもらったのですが「一つくらい持病があった方が却って健康に気をつけて長生きができる。」と言う意味だそうです。長生きできるかどうかは分かりませんが、私は少なくとも病気になったお陰で「できなくなったことに固執する」より「有るものを生かす」という発想が強くなりました。しかもこの方が毎日を豊かに送れているような気がします。

私はこれまで教育に携わってきましたが、時代の流れと共に教育も昔とは変わってきました。具体的には昔はどちらかと言えどできないところをできるようにすることに重点が置かれていましたが、今はAIの進歩もあり特異な才能を伸ばした方が社会のニーズに応えられるようです。それは仮に凸凹だったとしても持ち味として生かせれば才能になります。

この凸凹を生かせるようにするには、私は特に2つのことが必要であると考えます。1つ目は、一人一人が自分自身の凸凹を知り（自己理解）、それを受け入れ（自己受容）、そして生かせるようにする（自己指導）ことです。2つ目は、地域社会全体が凸凹があってもそれを個性として認める見方ができるようになることです。1つ目の実現については、まず大人がモデルとなって実践することだと思っています。子どもは大人の言う通りにはなりません大人のする通りには成るからです。おおらかな環境で育った子は、おおらかな性格になることが多いと感じます。2つ目の実現は時間がかかるかもしれませんが、1つ目が進んでいけば自然に広がっていくと思います。

今回、私は「一病」して改めて「できること」に気づくことができました。この陰で「自己理解」が進み「自己受容」も深まったと感じます。その分「息災（健康）」に生きることができるようになったのだと思います。

保護者学習会が開催されました。

7月26日に第2回 ゆいまーる・ふくしまの保護者学習会を開催しました。

私たち職員が保護者様から受けるご相談には、いわゆる「あるある話」も多いですが、保護者様にとっては「他でこんなことをする子、見たことない・・・」「ママ友には話しづらい」・・・など、孤立感に近い感情を抱えている方も少なくないと感じていました。

そこで、似たような悩みを共有・共感しあう経験をしてもらいたいとの思いから、今年度の学習会は保護者様どうしておしゃべりする形をとっています。

参加された方からは「他の親も同じようなことで悩んでいることがわかった」「情報交換できてよかった」等の声があがっています。

まだ参加されたことのない方も、ぜひ日ごろ言いたくても言えないことを吐き出しにいらっやいませんか？

少し気持ちが軽くなるかもしれません。お待ちしております!!



啓発講演会のご案内

開催日	令和7年10月25日(土曜日)
時間	9:30~11:30
場所	新舞子ハイツ
講師	内山 登紀夫 先生
テーマ	「その子らしく育つ」





我が家の逸品

児童発達支援事業所
～ゆいまーるふくしま～



今回ご紹介するのは、就学前のお子さんが、“初めから終わりまで自分ひとりで達成できるように設定された課題”です。

はじめは「先生とおべんきょう」でやってみて、できるようになったら「一人でおべんきょう」という自立活動へ移行します。

課題は、お子さんが見てすぐに理解して、一人でできることもあります。ちょっとした職員の介入が必要な時もあります。そんなときはお子さんが分かる方法を職員が考え、構造を変えて(再構造化)再度できるかどうかアセスメントをしています。

	*田んぼの生き物の分別 田んぼにいる3種類の生き物の(ザリガニ・オタマジャクシ・ゲンゴロウ)カードを分けて右の箱に入れる。
	*色マッチング+さす 同じ色のスポンジの中央(鼻の部分)にさす。
	*切る+同じ色の箱に分ける カードの端に2色のテープを貼って、真ん中の線をハサミで切ってテープと同じ色の箱に入れる。
	*さす+おく(指示の写真あり) ケーキのろうそくに見立てたストローに火に見立てた綿棒をさす +いちごを赤いシールの上におく。
	*プットイン トミカの車を箱上部の道路を走らせて(車を)穴にいれる。

課題を通して、最初から最後まで一人で取り組む力や自信を培い、沢山の経験を通して次のステージへステップアップしていただきたいと思います。

助成いただきありがとうございました。

令和6年7月に、赤い羽根共同募金様より助成をいただき送迎車を購入しました。安全装置も搭載された車ですが、より一層安全運転を心がけ、お子さん達に快適かつ安心して乗車してもらえるように努めます。



～ 新人職員紹介 ～



事務・支援員 佐々木 知弘

はじめまして！

この度、ゆいまーるにて事務・支援員として加わりました佐々木と申します。前職は、子ども専門カメラマンをしておりました。

自身も幼児の子育てをしており、日々利用児さんに我が子を重ねる場面も多く、目を細めております。

保護者さん、利用児さん共に安心して通っていただけるよう努めて参ります。よろしくお願いします☆

今後の行事予定

・法人共通

10/10(金)・11(土)
25(土)
11/1(土)
21(金)・22(土)
12/29(月)～1/3(土)

福島県強度行動障がい支援者養成研修(基礎研修)
啓発講演会
わくわくウォークラリー(雨天時 11/8(土)に振替)
福島県強度行動障がい支援者養成研修(実践研修)
年末年始休み



児童発達支援センターわくわくキッズ

9/30(火) パARENTプログラム②
10/2(木) わくわく広場
14(火) パARENTプログラム③
20(月) 避難訓練
28(火) パARENTプログラム④

11/4(火) パARENTプログラム⑤
6(金) わくわく広場
18(火) パARENTプログラム⑥
19(水) 避難訓練
12/4(木) わくわく広場
18(木) 避難訓練



児童発達支援事業所ゆいまーる・ふくしま

10/6(月) パARENTプログラム②
20(月) パARENTプログラム③
11/10(月) パARENTプログラム④

12/1(月) パARENTプログラム⑤
8(月) パARENTプログラム⑥
18(木) 避難訓練



放課後等デイサービスセカンドハウスわくわく

放課後等デイサービスセカンドハウスほっぷ

居宅介護 移動支援 行動援護

11/5(水) 避難訓練

生活介護事業所チャレンジド

10/28(火) おやつ作り
11/7(金) 避難訓練
27(木) 外出日
12/25(木) クリスマス会



※予定は変更になる場合がございます。ご了承ください。

お知らせ・ご利用者様へのお願い



〇日頃より空き缶・ペットボトル等のご寄付をいただきありがとうございます。
今後もアルミ缶、ペットボトル、古いシーツやタオルケット等ご寄付のご協力を
お願い致します。



※なお、空き缶をご寄付いただく際はお手数ですが、軽く洗って袋に入れていただ
き、各事業所にお持ち下さい。



〇受給者証が新しくなりましたら出来るだけ早く、
利用されている事業所へご提示頂きますようお願い致します。



〇事業所をご利用される際には、持ち物へのご記名をお願い致します。



編集後記



今回、初の編集担当となり不安でいっぱいでしたが、表紙の依頼を受けてくださった松崎先生、編集委員の方、同じ事業所の職員に
助けてもらいながら、第70号のわくわく通信を発行することが出来ました。ご協力頂きありがとうございました。

わくわく通信の製作に当たっては、「大事な表紙のイラストはどうしよう・・・」と悩みましたが、子どもの頃家へ帰る途中の山道にあっ
たあけびを思い出しました。「パカッと口が開いたのが甘くなってうまいんだよ」と曾祖母が教えてくれたのを思い出したのでアケビを
えらびました。

知的障がい児者・自閉症児者の 生サポは 家族の安心を支えます

発達障がい児者の方もご加入いただけるようになりました。

- 日常生活に関する相談支援
- 就労に関する相談支援
- 権利擁護に関する相談支援

当会にご入会いただくと、
知的障がい児者、自閉症児者のための
病気やケガの総合補償制度をご利用いただけます。

AIG損保の普通傷害保険

生活サポート総合補償制度

特定障害者福祉団体傷害保険特約、弁護士費用等補償特約、職業従事中事故対応費用補償特約、地震・噴火・津波危険補償特約セット

病気やケガで入院したとき
入院給付金

ケガをしたとき
死亡・後遺障害・入院・通院・手術／各保険金
(地震・噴火・津波によるケガも対象)

※上記は概要ですので詳細は下記までお問い合わせください。

病気で死亡したとき
疾病葬祭費用保険金 ※プランによって
補償します

賠償責任を負ったとき
個人賠償責任補償

虐待・逮捕・勾留に対応するとき
弁護士費用等補償 ※プランによって補償します

就労中に他人にケガをさせたり
物を壊してしまったとき
職業従事中事故対応費用補償 ※プランによって補償します

保険のお問合せはこちら

■担当代理店・扱者

株式会社 ジェイアイシー 南東北支店

〒980-0804 仙台市青葉区大町2-3-11

レイテンビル7F

TEL: 0120-294-747(フリーダイヤル) FAX: 022-264-0081

受付時間: 午前9時～午後5時

(土・日・祝日・年末年始を除く)

■引受保険会社

AIG損害保険株式会社

<https://www.aig.co.jp/sonpo>

仙台支店

〒980-0811 仙台市青葉区一番町1-8-3 富士火災仙台ビル3階

TEL: 022-726-7551

受付時間: 午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

ご入会のお問合せはこちら

福島県知的障害児者生活サポート協会

〒960-8141 福島市渡利字七社宮111

福島県総合社会福祉センター

福島県手をつなぐ親の会連合会内

TEL: 024-573-5980 FAX: 024-522-7228

2024年1月現在の内容です。(D-007027 2025-03)

※記事や写真の掲載に関しましてはご本人様・保護者様の承諾を得ております。